

# 8月24日（日）発生のゲリラ豪雨の対応について

8月24日

	場所	状況	市の対応
1	私部4丁目	浸水	現場確認3件、消防車による排水1件
2	郡津1丁目	浸水	現場確認1件
3	郡津4丁目	浸水	現場確認・通行止め1件
4	郡津5丁目	浸水	現場確認1件
5	星田9丁目	浸水	現場確認1件
6	私市 JR 高架下	浸水	現場確認
7	天野が原町京阪高架下	浸水	現場確認

8月24日（日曜日）午後19時頃発生したゲリラ豪雨では、交野市内で1時間雨量最大75mmを観測しました。  
 8月27日時点で市から議会に報告があった浸水等発生状況と、市の対応は次の通りです。

8月25日

	場所	状況	市の対応
1	星田7丁目	排水が逆流	消毒剤配布1件
2	南星台5丁目	道路に土砂流出	清掃（急傾斜地対策業者）
3	星田小学校	ランチルーム浸水	清掃・消毒剤散布

問合せ先

- 床下浸水・床上浸水の消毒  
→ 環境衛生課
  - 廃棄物 → 環境事業課
  - 罹災証明書 → 税務室
  - 災害見舞金（支給要件あり）  
→ 危機管理室
- いずれも市役所 072-892-0121

## 【日本共産党は9月議会に次の意見書（ほか1件）を提出しました】

大阪・関西万博工事未払い被害者への早急な救済措置を求める意見書（案）

万博工事を請け負った業者らが、工事代金の未払いによって廃業や生活の危機に直面している。その被害額は数千万円～1億円超で、家族を含め1000人以上が影響を受けている。この間、業者らは「万博工事未払い問題被害者の会」を結成し、万博協会、大阪府、国土交通省、財務省、経済産業省などに要請を行ってきた。しかし、現段階において具体的な支援策は示されていない。

そもそも大阪・関西万博は「国家的プロジェクト」との位置付けであるにもかかわらず、工事を受注する業者が決まらないほどの難工事であり、大手ゼネコンのトップでさえ、開幕に間に合わないと言う状況だった。被害業者らがこのような大変厳しい工事を引き受けたのは、大阪府知事や万博協会の度重なる強い要請を受けたからにほかならない。万博協会からは、元請施工者からの依頼が届いた際には積極的な受注協力を求める「海外パビリオン建設にかかるご協力のお願い」が発出されており、こうした要請に応え、被害業者らは昼夜分かたず過労死レベルの仕事を行ってきた。特に、開幕直前の数ヶ月間は現場に泊まり込み、過酷な環境で働き、多くのパビリオンを開幕日までに完成させることができたのである。

また、「国家的プロジェクト」であるため元請業者の選定には国も万博協会も関わっており、万博協会の役員・理事には、大阪府知事・大阪市長・元内閣官房国際博覧会推進部事務次長などが名を連ねている。このような体制の下で進められてきた事業だからこそ、事業者は信用し工事を請け負ったのである。ところが、開幕に合わせるために命を削って頑張った職人たちが、工事代金未払いによって連鎖倒産や、家族を含めた命と生活の危機に直面している今の事態は、理不尽極まりなく看過できない。

よって本市議会は、国及び大阪府に対して、以下のとおり要望する。

- 一、一刻も早く被害業者らに対して未払い工事代金の立て替え払いをすること。
  - 二、被害業者らに返済期限が長期の無利子融資を緊急に実行すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。